

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	話し合う（はなしあう）①・・・WBM との組み合わせ	
対象授業科目/活動	理科	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>新しく導入された学習者用タブレット（指導者用を含めて学校に10台の導入）の活用が進む中で、新たに出てきた問題は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者用として活用していくことで、グループ活用ができなくなる。</li> </ul> <p>という矛盾です。</p> <p>そこで、100均で手に入るミニホワイトボードを使ったWBM（ホワイトボードミーティング）と組み合わせることで、タブレットの不足を補うことにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用アプリ・・・カメラ。それぞれのグループのミニホワイトボードを写し、大型テレビに投影することで、意見などの共有化をはかる。</li> </ul>	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ごとの生徒の感想からは、 「WBM をすることで意見交換ができた」 「テレビに映して見ることで、他の班の意見がわかった」 など、タブレット不足を補うことができていることがわかります。</li> <li>・写真を他の先生方に見てもらい説明することで、WBM とタブレットの組み合わせの有効性を知ってもらっています。</li> </ul>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを増やすより、安価で活用を広げることができる。</li> <li>・10台のタブレット×10枚のホワイトボードで、100台分に近い効果を得ることができる。</li> </ul>	
その他 (関連WEBサイト等ありましたらご記入ください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用という視点だけではなく、ミニホワイトボードの活用という新たな工夫を始めることができました。</li> </ul>	